



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 ユナイトアンドグローウ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4486 URL http://www.ug-inc.net/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 須田 騎一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 岡 美恵子 TEL 03 (5577) 2091  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	819	—	103	—	103	—	66	—
2019年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 66百万円 (—%) 2019年12月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	36.78	34.01
2019年12月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、2019年12月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2020年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
2020年12月期第2四半期	1,525	1,096	1,096	1,043	71.9	68.1
2019年12月期	1,532	1,043	1,043	—	—	—

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 1,096百万円 2019年12月期 1,043百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であります。2020年12月期 (予想) の年間配当金につきましては、当該株式分割の影響を配慮した金額を記載しております。なお、今回の修正は株式分割に伴うものであり、当初期末配当予想10円00銭からの実質的な変更はありません。

### 3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,826	12.4	218	6.6	218	14.4	147	10.0	40.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であります。2020年12月期通期の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を配慮した金額を記載しております。なお、今回の修正は株式分割に伴うものであり、当初通期予想1株当たり当期純利益81円20銭からの実質的な変更はありません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	1,821,300株	2019年12月期	1,815,500株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	－株	2019年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	1,815,908株	2019年12月期2Q	－株

（注）当社は、2019年12月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第2四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2020年8月18日（火）に機関投資家向け及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大による経済への影響などにより、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このコロナ禍において、企業はIT化への対応を余儀なく迫られる状況となり、ビジネスのデジタル化のみならず、プロセスのデジタル化など企業の事業活動継続のためにも需要は高まっております。

このような状況のなか、当社グループは、自らのIT化をさらに進めるとともに、企業のDX（デジタル・トランスフォーメーション）への要望に対し支援することを推進してまいりましたが、インソーシング事業においては顧客都合による新規プロジェクトの延期等、セキュリティ事業においては教育・研修サービスのオンライン切替え対応等により、売上高に僅かな影響が生じております。

また、計画していたシステム投資や教育研修サービス等の時期及び実施方法の見直し等を行ったことにより、販売費及び一般管理費が削減されたため、当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は、堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高819,224千円、営業利益103,439千円、経常利益103,306千円、親会社株主に帰属する四半期純利益66,794千円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

## ① インソーシング事業

コロナ禍における企業のIT化の支援へ注力するとともに、シェアード社員間でのオンラインによるコミュニケーションを密に行い、情報共有及びサービスの品質維持に努めました。また、シェアード社員の採用を積極的に行い、インソーシング事業の人員は、前連結会計年度末に比べ15人増加し、149人となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高748,740千円、セグメント利益284,123千円となりました。

## ② セキュリティ事業

コロナ禍において、教育・研修サービスのオンライン化対応等により延期などが発生したものの、オンライントレーニングコースの開始など積極的にサービス開発に取組み、業績への影響は軽微に留まりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高70,483千円、セグメント利益10,240千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は1,525,242千円となり、前連結会計年度末に比べ7,213千円減少いたしました。

流動資産については、現金及び預金13,952千円の増加、売掛金7,588千円及びその他流動資産5,066千円の減少により、前連結会計年度末に比べ1,092千円増加し、1,434,750千円となりました。

固定資産については、有形固定資産が34,447千円、無形固定資産が27,377千円、投資その他の資産が28,666千円となり、前連結会計年度末に比べ8,305千円減少し、90,492千円となりました。これは主に、ソフトウェア1,008千円、繰延税金資産3,147千円及びのれん2,214千円の減少によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は428,443千円となり、前連結会計年度末に比べ60,643千円減少いたしました。

流動負債については、未払法人税等1,009千円、未払金64,468千円及びその他流動負債4,902千円の減少、前受金16,201千円の増加により、前連結会計年度末に比べ54,665千円減少し、416,206千円となりました。

固定負債については、1年内返済予定の長期借入金への振替5,502千円により、前連結会計年度末に比べ5,978千円減少し、12,237千円となりました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,096,799千円となり、前連結会計年度末に比べ53,430千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益66,794千円の計上及び配当金14,524千円の支払により利益剰余金52,270千円が増加したことによりです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末と比べて13,946千円増加し、1,228,004千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は41,642千円となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益103,306千円、減価償却費8,058千円、のれん償却額2,214千円及び前受金の増加額16,201千円であり、主な減少要因は、未払金の減少額61,319千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は8,209千円となりました。主な減少要因は、無形固定資産の取得による支出8,263千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は19,486千円となりました。主な減少要因は、配当金の支払額14,524千円、長期借入金の返済による支出5,502千円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年2月14日の「2020年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想については、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。また、2020年1月に発生した新型コロナウイルス感染症の当社グループ事業への影響については、継続して情報収集に努めておりますが、現時点における影響金額等を見通すことが困難なことから、本連結業績予想には織り込んでおりません。今後の事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となる場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,394,089	1,408,042
売掛金	14,938	7,349
貯蔵品	6,838	6,633
その他	17,791	12,724
流動資産合計	1,433,658	1,434,750
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	30,870	29,701
その他(純額)	5,511	4,745
有形固定資産合計	36,382	34,447
無形固定資産		
のれん	4,429	2,214
ソフトウェア	26,171	25,163
その他	0	0
無形固定資産合計	30,600	27,377
投資その他の資産		
繰延税金資産	9,268	6,121
その他	22,545	22,545
投資その他の資産合計	31,814	28,666
固定資産合計	98,797	90,492
資産合計	1,532,456	1,525,242

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,543	7,057
1年内返済予定の長期借入金	11,004	11,004
未払金	99,900	35,432
未払法人税等	41,441	40,431
前受金	258,376	274,578
その他	52,606	47,703
流動負債合計	470,871	416,206
固定負債		
長期借入金	7,316	1,814
資産除去債務	7,163	7,171
その他	3,735	3,252
固定負債合計	18,215	12,237
負債合計	489,087	428,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	304,177	304,757
資本剰余金	283,322	283,902
利益剰余金	455,868	508,139
株主資本合計	1,043,368	1,096,799
純資産合計	1,043,368	1,096,799
負債純資産合計	1,532,456	1,525,242

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	819,224
売上原価	441,282
売上総利益	377,941
販売費及び一般管理費	274,501
営業利益	103,439
営業外収益	
受取利息	11
その他	0
営業外収益合計	12
営業外費用	
支払利息	145
営業外費用合計	145
経常利益	103,306
税金等調整前四半期純利益	103,306
法人税、住民税及び事業税	33,365
法人税等調整額	3,147
法人税等合計	36,512
四半期純利益	66,794
親会社株主に帰属する四半期純利益	66,794



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	66,794
四半期包括利益	66,794
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	66,794

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	103,306
減価償却費	8,058
のれん償却額	2,214
受取利息	△11
支払利息	145
売上債権の増減額(△は増加)	7,588
たな卸資産の増減額(△は増加)	205
その他の流動資産の増減額(△は増加)	5,004
仕入債務の増減額(△は減少)	△486
未払金の増減額(△は減少)	△61,319
前受金の増減額(△は減少)	16,201
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△7,947
その他	7
小計	72,968
利息の受取額	11
利息の支払額	△143
法人税等の支払額	△31,193
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>41,642</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△150,006
定期預金の払戻による収入	150,000
無形固定資産の取得による支出	△8,263
その他	60
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,209</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△5,502
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,160
配当金の支払額	△14,524
その他	△620
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△19,486</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,946
現金及び現金同等物の期首残高	1,214,057
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,228,004

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	インソーシング 事業	セキュリティ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	748,740	70,483	819,224	—	819,224
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,254	—	18,254	△18,254	—
計	766,994	70,483	837,478	△18,254	819,224
セグメント利益	284,123	10,240	294,363	△190,923	103,439

（注） 1. セグメント利益の調整額△190,923千円には、セグメント間取引消去△18,254千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△172,669千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更）

当社は、2020年8月14日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、より一層投資しやすい環境を整えることで、当社株式の投資家層の拡大と流動性の向上を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2020年8月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

- ① 株式分割前の発行済株式総数 1,821,300 株
- ② 今回の株式分割により増加する株式数 1,821,300 株
- ③ 株式分割後の発行済株式総数 3,642,600 株
- ④ 株式分割後の発行可能株式総数 11,600,000 株

（注）上記の発行済株式総数及び増加する株式数は、新株予約権の行使により株式分割の基準日までの間に増加する可能性があります。

(3) 分割の日程

- ① 基準日公告日 2020年8月14日（金曜日）
- ② 基準日 2020年8月31日（月曜日）
- ③ 効力発生日 2020年9月1日（火曜日）

3. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が当連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）
1株当たり四半期純利益	18.39 円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	17.00 円

（注）当社は、前第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については記載しておりません。

4. 株式分割に伴う定款の一部変更について

(1) 変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2020年9月1日（火曜日）をもって、当社定款第6条の発行可能株式総数を変更いたします。

(2) 変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。

（下線は変更箇所を示しております。）

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第6条 当会社の発行可能株式総数は、 <u>5,800,000株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当会社の発行可能株式総数は、 <u>11,600,000株</u> とする。

(3) 変更の日程

効力発生日 2020年9月1日（火曜日）

## 5. その他

## (1) 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額に変更はありません。

## (2) 新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たり行使価額を2020年9月1日以降、以下のとおり調整いたします。

	取締役会決議日	調整前行使価額	調整後行使価額
第4回新株予約権	2015年2月2日	200 円	100 円
第5回新株予約権	2015年10月14日	600 円	300 円
第6回新株予約権	2018年12月25日	700 円	350 円